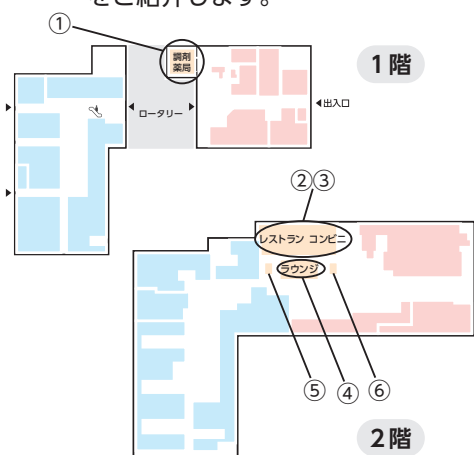


教えて! 市立病院

両院の患者さんや付き添いの人などが快適に過ごせるようにアメニティセンターを整備しています。今回は、利用できる施設などをご紹介します。



〈新病院情報 第5回〉

アメニティセンターをご紹介します!

■問合せ/市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

1階

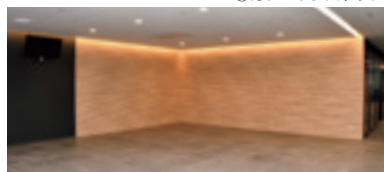
- ① 敷地内調剤薬局
9時～22時(無休)
年中無休のため、休日などでも薬の受け取りが可能です。

2階

- ② カフェ&レストラン
9時～17時30分(土日・祝日、年末年始は休み)
見晴らしのよい席で食事を楽しむことができます。
- ③ コンビニエンスストア
7時30分～19時30分(無休)
- ④ ラウンジ(休憩スペース)
市立病院の外来患者さんの呼び出しモニターも設置しています。
- ⑤ ATMコーナー
きらやか銀行・東北労働金庫
- ⑥ 理美容室



▲②カフェ&レストラン



▲④ラウンジ

新病院の情報は、市立病院ホームページをご確認ください。



米沢市立病院
ホームページ

目指せ! 健康長寿 日本一

★★★★

国際アルツハイマー病協会(ADI)は、世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。この期間を中心に、世界各地で認知症に関する啓発活動が行われています。



認知症サポーター
キャラバンのマスコット「ロバ隊長」

〈第64回〉

認知症について正しく理解しよう!

■問合せ/高齢福祉課地域包括支援担当 ☎ 22-5111



本市は今年度「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加します。

このプロジェクトは、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう!」という思いを共有し、楽しみながら花を育て、全国各地でオレンジ色*の花を咲かせるというものです。認知症について考え周囲の人と話したり、認知症の人と一緒に花を育てたり、人・地域・社会とのつながりを持ち、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていきましょう。

*オレンジ色は認知症啓発のシンボルカラー



市内で行っている啓発活動

- ・認知症に関する展示
- 期間/～9月22日(金)
- 場所/市民ホール(市役所1階)
- 内容/認知症カフェ参加者による作品の展示など
- ・認知症に関する本の紹介
- 期間/～9月27日(水)
- 場所/市立米沢図書館
- ・オレンジライトアップ
- 期間/9月2日(土)～30日(土)
- 場所/旧米沢高等工業学校本館(山形大学工学部内)
- 主催/公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部



〈第9回〉

知る・拾う・味わう ごみゼロ活動コミュニティ

■問合せ／政策企画課企画調整担当 ☎ 22-5111



レクチャーする青山さん

市内で月1回ごみ拾いを開催するZero Waste Walk 代表の青山浩子さんにお話を伺いました。

青山さんは3年前に東京から米沢に移住し、2021年5月からZero Waste Walk (以下、ZWW) の活動を開始されました。初

めは3人のメンバーで発足しましたが、知人に声を掛けたり、SNSで発信したりすることで次第に輪が広がり、今年5月の開催時には、45人を超える参加者が集まりました。また、米沢を飛び出し、上山・山形・東根などでも活動しています。

ZWWの特徴は、何と言っても青山さんによる環境問題のレクチャーとごみ拾い後のコーヒータイムです。最初に、毎回テーマを変えて作成したスライドをタブレットで見せながら環境・気候問題の説明をします。環境問題への理解

を深めた後、ごみ拾いを行い、終了後には青山さんが淹れたコーヒーでブレイクタイム。各々持参したマイカップでコーヒーをいただきます。7月の活動日には、白鷹町から訪れた人、親子連れ、大学生、リピーターから初めてのひとまで幅広く参加しており、きれいになった公園でコーヒーを飲みながら談笑し、新たなコミュニティがつけられました。

青山さんは、「公園の中は一見きれいに見えても、人目に付きにくいところにごみが捨てられています。一人でも多くの方が地球上で起こっている環境問題について知り、行動につなげてもらえたら」と話して下さいました。



コーヒータイムの様子



ZWW
Instagram

わたしのなせばなる



取組紹介



募集ページ

よねざわ

文化財散歩

〈第15回 後編〉

おおみなみいせきしゅつどもくせいひんるい
大南遺跡出土木製品類

■問合せ／社会教育文化課文化財担当 ☎ 22-5111

大南遺跡から出土した室町～戦国時代の木製品類には、当時の信仰の一端が見えてくるものがあります。

「十八日観世菩薩」と書かれた長さ17cmの木簡は、観世音菩薩の徳を称える観音講や齋日信仰に関わるものと考えられます。齋日には六齋日や十齋日などがあり、仏教徒が行いを慎み、それぞれの日付に割り当てられた仏を念ずると、これまでの罪が消えて御利益があるとされるものです。十八日には観世音菩薩が割り当てられており、十八日が含まれる十齋日に関わる木簡と考えられ

ます。木簡の下部には円形の穴があり、本来はその他9つの日付と対応する仏が書かれた札があって、紐でまとめられていた可能性があります。

この他、お坊さんのような姿をした高さ約20cmの木像が出土しています。類似した木像は石川県金沢市千田北遺跡からの出土例が知られるくらいで、日本固有の神と仏教が融合した神仏習合の影響を受けていると考えられます。



左：木簡の赤外線写真
右：僧形の木像